

アッシヤと戦つては時の 2人の信仰

無知 vs 知恵

祭司、預言者の無知

ハマリゆは わざわいだ

28

- 1 エフライムの酔いどれの誇る冠と、酒におぼれた者の肥えた谷のかしらにある。しばみゆく花の美しい飾りは、わざわいだ。
- 2 見よ、主はひとりの力ある強い者を持つておられる。これはひょうをまじえた暴風のように、破り、そこなう暴風雨のように、大水のあふれみなぎる暴風のように、それを激しく地に投げうつ。
- 3 エフライムの酔いどれの誇る冠は、足で踏みじられる。
- 4 肥えた谷のかしらにある。しばみゆく花の美しい飾りは、夏前に熟した初なりのいちじくのようだ。人がこれを見ると、取るやいなや、食べてしまう。
- 5 その日、万軍の主はその民の残つた者のために、栄えの冠となり、麗しい冠となられる。
- 6 また、さばきの席に座する者にはさばきの霊となり、戦いを門まで追返す者には力となられる。

- 7 しかし、これらもまた酒のゆえによろめき、濃き酒のゆえによろける。祭司と預言者とは濃き酒のゆえによろめき、酒のゆえに心みだれ、濃き酒のゆえによろける。彼らは幻を見るときに誤り、さばきを行うときにつまづく。
- 8 すべての食卓は吐いた物で満ち、清い所はない。
- 9 「彼はだれに知識を教えようとするのか。だれにおとずれを説きあかそうとするのか。乳をやめ、乳ぶさを離れた者にするのだろうか。10 それは教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、ここにも少し教えるのだ」。
- 11 否、むしろ主は異国のくちびると、異国の舌とをもってこの民に語られる。
- 12 主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。
- 13 しかし彼らは聞こうとはしなかった。教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、ここにも少しとなる。これは彼らが行つて、うしろに倒れ、破られ、わなにかげられ、捕えられるためである。

28

- 14 それゆえ、エルサレムにあるこの民を治めるあざける人々よ、主の言葉を聞け。
- 15 あなたがたは言った、「われわれは死と契約をなし、陰府と協定を結んだ。みなぎりあふれる災の過ぎる時にも、それはわれわれに来ない。われわれはうそを避け所となし、偽りをもつて身をかくしたからである」。
- 16 それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、私はシオンに一つの石をすえて基とした。これは試みを経た石、堅くすえた尊い隅の石である。『信ずる者はあわてることはない』。正義を、下げ振りとする。ひょうは偽りの避け所を滅ぼし、水は隠れ場を押し倒す」。
- 18 その時あなたがたが死とたてた契約は取り消され、陰府と結んだ協定は行われぬ。
- みなぎりあふれる災の過ぎるとき、あなたがたはこれによつて打ち倒される。19 それが過ぎるごとに、あなたがたを捕える。それは朝な朝な過ぎ、昼も夜も過ぎるからだ。このおとずれを聞きわきまえることは、全くの恐れである。20 床が短くて身を伸べることができず、かける夜具が狭くて身をおおうことができないからだ。

- 21 主はペラジム山で立たれたように立ちあがり、ギベオンの谷で憤られたように憤られて、その行いをなされる。その行いは類のないものである。またそのわざをなされる。そのわざは異なつたものである。22 それゆえ、あなたがたはあざけてはならない。さもないと、あなたがたのなわめは、きびしくなる私は主なる万軍の神から全地の上に臨む滅びの宣言を聞いたからである。23 あなたがたは耳を傾けて、わが声を聞くがよい。心してわが言葉を聞くがよい。24 種をまくために耕す者は絶えず耕すだろうか。彼は絶えずその地をひらき、まぐわをもつて土をならすだろうか。25 地のおもてを平らにしたならば、いのんどもまき、クミンをまき、小麦をうねに植え、大麦を定めた所に植え、スペルト麦をその境に植えないだろうか。26 これは彼の神が正しく、彼を導き教えられるからである。27 いのんどもは麦こき板でこかない、クミンはその上に車輪をころがさない。いのんどもを打つには棒を用い、クミンを打つにはさおを用いる。28 人はパン用の麦を打つとき砕くだろうか、否、それが砕けるまでいつまでも打つことをしない。馬をもつてその上に車輪を引かせるとき、それを砕くことをしない。29 これもまた万軍の主から出ることである。その計りごとは驚くべく、その知恵はすぐれている。

神の正しい知恵

主はペラジム山で 立ちあがり

いよいよ死。陰府と契約



預言者を見ず無知

9 あなたがたは知覚を失って気が遠くなれ、
目がくらんで言となれ。
あなたがたは酔ってはいよ、しかし酒のゆえではない、
よろめけ、しかし濃き酒のゆえではない。
10 主が深い眠りの霊をあなたがたの上にそそぎ、
あなたがたの目である預言者を閉じこめ、
あなたがたの頭である先見者を
おおわれたからである。
11 それゆえ、このすべての幻は、あなたがたには封じた
書物の言葉のようになり、人々はこれを読むことので
きる者に私で、「これを読んでください」と言えば、
「これは封じてあるから読むことができない」と彼は
言う。
12 またその書物を読むことのできない者に私で、「これを
読んでください」と言えば、「読むことはできない」と
彼は言う。

アリエルの敵は一人

1 ああ、アリエルよ、アリエルよ、
ダビデが営をかまえた町よ、
年に年を加え、祭をめぐりこさせよ。
2 その時私はアリエルを悩ます。
そこには悲しみと嘆きとがあつて、
アリエルのようなものとなる。
3 私はあなたのまわりを営を構え、
やぐらをもってあなたを囲み、
塁を築いてあなたを攻める。
4 その時あなたは深い地の中から物言い、
低いちりの中から言葉を出す。
あなたの声は亡霊の声のように地から出
5 しかしあなたのあだの群れは
細かなちりのようになり、
あらぶる者の群れは
吹き去られるもみがるのようになる。
また、にわかには、またたくまに、この事がある。
6 すなわち万軍の主は雷、地震、大なる叫び、
つむじ風、暴風および焼きつくす火の炎をもつて
臨まれる。
7 そしてアリエルを攻めて戦う国々の群れ、
すなわちアリエルとその城を攻めて戦い、
これを悩ます者はみな
夢のように、夜の幻のようになる。
8 飢えた者が食べることを夢みても、
さめると、その飢えがいえないように、
あるいは、かわいた者が飲むことを夢みても、
さめると、疲れてそのかわきがとまらないように、
シオンの山を攻めて戦う国々の群れも
そのようになる。

13 主は言われた、
「この民は口をもって私に近づき、
くちびるをもって私を敬うけれども、
その心は私から遠く離れ、
彼らの私をかしこみ恐れるのは、
そらで覚えた人の戒めによるのである。
14 それゆえ、見よ、私はこの民に、
再び驚くべきわざを行う、
それは不思議な驚くべきわざである。
彼らのうちの賢い人の知恵は滅び、
さとい人の知識は隠される」。
15 わざわいなかな、
おのが計りごとを主に深く隠す者。
彼らは暗い中でわざを行い、
「だれがわれわれを見るか、
だれがわれわれのことを知るか」と言う。
16 あなたがたは転倒して考えている。
陶器師は粘土と同じものに思われるだろうか。
造られた物はそれを造つた者について、
「彼は私を造らなかつた」と言い、
形造られた物は形造つた者について、
「彼は知恵がない」と言うことができるか。

17 しばらくしてレバノンに愛つて肥えた畑となり、
肥えた畑は林のように
思われる時が来るではないか。
18 その日、耳しいは書物の言葉を聞き、
目しいの目はその暗やみから、見ることが出来る。
19 柔和な者は主によつて新たな喜びを得、
人のなかの貧しい者は
イスラエルの聖者によつて楽しみを得る。
20 あらぶる者は絶え、
あざける者はうせ、
悪を行おうと、おりをうかがう者は、
ことごとく断ち滅ぼされるからである。
21 彼らは言葉によつて人を罪に定め、
町の門でいさめる者をわなにおとし入れ、
むなししい言葉をかまえて正しい者をしりぞける。
22 それゆえ、昔アブラハムをあがなわれた主は、ヤコブ
家についてこう言われる、「ヤコブは、もはやはずし
しめを受けず、
その顔は、もはや色を失うことはない。
23 彼の子孫が、その中にわが手のわざを見るとき、
彼らはわが名を聖とし、
ヤコブの聖者を聖として、
イスラエルの神を恐れる。
24 心のあやまれる者も、悟りを得、
つぶやく者も教をうける」。

主は政う。日



パロに頼りたがる

- 1 主は言われる、
「そむける子らはわざわいだ、
彼らは計りごとを行うけれども、
私によってではない。
彼らは同盟を結ぶけれども、
わが霊によってではない、
罪に罪を加えるためだ。」
- 2 彼らはわが言葉を求めず、
エジプトへ下つて行って、パロの保護にたより、
エジプトの陰に隠れようとする。
- 3 それゆえ、パロの保護は
かえってあなたがたの恥となり、
エジプトの陰に隠れることは
あなたがたのほずかしめとなる。
- 4 たとい、彼の君たちがゾアンにあり、
彼の使者たちがハネスに来て、
5 彼らは皆おのれを益することのできない民により、
すなわち助けとならず、益とならず、
かえって恥となり、ほずかしめとなる民によって、
恥をかくからである」。

肉が強い民

- 6 ネゲブの獣についての託宣。
彼らはその富を若いろばの背に負わせ、
その宝をらくだの背に負わせて、
難じし、雄じし、まむしおよび飛びかけるへびの出る
悩みと苦しみの国を通つて、
おのれを益することのできない民に行く。
- 7 そのエジプトの助けは無益であつて、むなし。
それゆえ、私はこれを
「休んでいるラハブ」と呼んだ。
- 8 いま行つて、これを彼らの前であかしし、
書物に載せ、
後の世に伝えて、とこしえにあかしとせよ。
- 9 彼らはそむける民、偽りを言う子ら、
主の教を聞こうとしない子らだ。
- 10 彼らは先見者にむかつて「見るな」と言い、
預言者にむかつては
「正しい事をわれわれに預言するな、
耳に聞きよいことを語れ、迷わしごとを預言せよ。
11 大路を去り、小路をはなれ、
イスラエルの聖者について語り聞かすな」と言つ。

- 12 それゆえ、イスラエルの聖者はこう言われる、
「あなたがたはこの言葉を侮り、
しえたげと、よこしまとを頼み、
これにたよるがゆえに、
13 この不義はあなたがたには
突き出て、くずれ落ちようとする高い石がきの
破れようであつて、
その倒壊はにわかには、またたくまに来る。
- 14 その破れることは陶器師の器を破るよう
惜しむことなく打ち砕き、
その砕けのなかには、炉から火を取り、
池から水をくめるほどの、ひとかけらさえ
見いだされない」。

- 15 主なる神、イスラエルの聖者はこう言われた、
「あなたがたは立ち返つて、
落ち着いているならば救われ、
穏やかにして信頼しているならば力を得る」。
しかし、あなたがたはこの事を好まなかつた。
16 かえつて、あなたがたは言った、
「否、われわれは馬に乗つて、とんで行こう」と。
それゆえ、あなたがたはとんで帰る。また言った、
「われらは速い馬に乗ろう」と。
それゆえ、あなたがたを追う者は速い。
17 ひどりの威嚇によつて千人は逃げ、
五人の威嚇によつてあなたがたは逃げて、
その残る者はわずかに
山の頂にある旗ざおのように、
丘の上にある旗のようになる。

それでも X

悔吝は - 1人減

主と恐れ
恥 vs 怒り
偽り vs 信頼
本気の力

主の言葉 vs 耳い預言者
知恵 vs 肉が強い者
しん

不忠 vs 盲目の預言者
みわざ



燃え怒り

33 焼き場はすでに設けられた。しかも王のために深く広く備えられ、火と多くのたきぎが積まれてある。主の息はこれを硫黄の流れのように燃やす。

32 主が懲しめをつえを彼らの上に加えられるごとに鼓を鳴らし、琴をひく。主は腕を振りかざして、彼らと戦われる。

31 主がそのむちをもって打たれる時、アッシリアの人々は腕の下ることを示される。

30 主はその威厳ある声を聞かせ、激しい怒りと、焼きつくす火の炎と、豪雨と、暴風と、ひょうとをもつてその腕の下ることを示される。

29 あなたがたは、聖なる祭を守る夜のように歌をうたう。また笛をならして主の山にきたり、イスラエルの岩なる主にまみえる時のように心に喜ぶ。

28 その息はあふれて首にまで達する。流れのようであつて、滅びのふるいをもつてもろもろの国をふるい、また惑わす手綱を。

27 見よ、主の名は遠い所から燃える怒りと、立ちあがる濃い煙をもつて来る。そのくちびるは憤りで満ち、その舌は焼きつくす火のごとく、

主が立ち上がる日

26 さらに主がその民の傷を包み、その打たれた傷をいやされる日には、月の光は日の光のようになり、日の光は七倍となり、七つの日の光のようになる。

25 大いなる虐殺の日、やぐらの倒れる時、すべてのそびえたつ山と、すべての高い丘に水の流れる川がある。

24 地を耕す牛と、ろばは、シヤベルと、くまででより分け、て塩を加えた飼料を食べる。

23 その時、あなたがたはしろがねをおおつた刻んだ像と、こがねを張つた鑄た像とを汚し、これをきたない物のようにまき散らして、これに「去れ」と言ふ。

22 主はあなたが地にまく種に雨を与え、地の産物なる穀物をくくださる。それはおびただしく、かつ豊かである。その日あなたの家畜は広い牧場で草を食べ、

21 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

20 たとい主はあなたがたに悩みのパンと苦しみの水を与えられても、あなたの師は再び隠れることはなく、あなたの目はあなたの師を見る。

19 シオンにおり、エルサレムに住む民よ、あなたはもはや泣くことはない。主はあなたの呼ばわる声に応じて、必ずあなたに恵みを施される。主がそれを聞かれるとき、直ちに答えられる。

30

18 それゆえ、主は待つていて、あなたがたに恵を施される。それゆえ、主は立ちあがつて、あなたがたをあわれまれる。主は公平の神でいらせられる。すべて主を待ち望む者はさいわいである。

17 シオンにおり、エルサレムに住む民よ、あなたはもはや泣くことはない。主はあなたの呼ばわる声に応じて、必ずあなたに恵みを施される。主がそれを聞かれるとき、直ちに答えられる。

16 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

15 その時、あなたがたはしろがねをおおつた刻んだ像と、こがねを張つた鑄た像とを汚し、これをきたない物のようにまき散らして、これに「去れ」と言ふ。

14 主はあなたが地にまく種に雨を与え、地の産物なる穀物をくくださる。それはおびただしく、かつ豊かである。その日あなたの家畜は広い牧場で草を食べ、

13 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

12 たとい主はあなたがたに悩みのパンと苦しみの水を与えられても、あなたの師は再び隠れることはなく、あなたの目はあなたの師を見る。

11 シオンにおり、エルサレムに住む民よ、あなたはもはや泣くことはない。主はあなたの呼ばわる声に応じて、必ずあなたに恵みを施される。主がそれを聞かれるとき、直ちに答えられる。

10 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

9 その時、あなたがたはしろがねをおおつた刻んだ像と、こがねを張つた鑄た像とを汚し、これをきたない物のようにまき散らして、これに「去れ」と言ふ。

8 主はあなたが地にまく種に雨を与え、地の産物なる穀物をくくださる。それはおびただしく、かつ豊かである。その日あなたの家畜は広い牧場で草を食べ、

7 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

6 たとい主はあなたがたに悩みのパンと苦しみの水を与えられても、あなたの師は再び隠れることはなく、あなたの目はあなたの師を見る。

5 シオンにおり、エルサレムに住む民よ、あなたはもはや泣くことはない。主はあなたの呼ばわる声に応じて、必ずあなたに恵みを施される。主がそれを聞かれるとき、直ちに答えられる。

4 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

3 その時、あなたがたはしろがねをおおつた刻んだ像と、こがねを張つた鑄た像とを汚し、これをきたない物のようにまき散らして、これに「去れ」と言ふ。

2 主はあなたが地にまく種に雨を与え、地の産物なる穀物をくくださる。それはおびただしく、かつ豊かである。その日あなたの家畜は広い牧場で草を食べ、

1 また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

31

1 助けを得るためにエジプトに下り、馬にたよる者は**わざわいだ**。彼らは戦車が多いので、これに信頼し、しかしイスラエルの聖者を仰がず、また主にはかることをしない。

2 それにもかかわらず、主もまた賢くいらせられ、必ず災をくだし、その言葉を取り消すことなく、立つて悪をなす者の家を攻め、また不義を行う者を助ける者を攻められる。

3 かのエジプトびとは人であつて、神ではない。その馬は肉であつて、霊ではない。主がみ手を伸ばされるとき、助ける者はつまずき、助けられる者も倒れて、皆ともに滅びる。

4 主は私にこう言われた、「ししまたは若いししが獲物をつかんで、ほえたけるとき、あまたの羊飼が呼び出されて、これにむかつて、その声によつて驚かず、その叫びによつて恐れないように、万軍の主は下つてきて、シオンの山およびその丘で戦われる。

5 鳥がひなを守るように、万軍の主はエルサレムを守り、これを守つて救い、これを惜しんで助けられる」。

6 イスラエルの人々よ、主に帰れ。あなたがたは、はなはだしく主にそむいた。

7 その日、あなたがたは自分の手で造つて罪を犯したしろがねの偶像と、こがねの偶像をめいめい投げすてる。

8 「アッシリアびとはつるぎによつて倒れる、人をつるぎではない。つるぎが彼らを滅ぼす、人のつるぎではない。彼らはつるぎの前から逃げ去り、その若い者は奴隷の働きをしいられる。

9 彼らの岩は恐れによつて過ぎ去り、その君たちはあわて、旗をすてて逃げ去る」。これは主の言葉である。

10 主の火はシオンにあり、その炬はエルサレムにある。

燃え怒り → 主の怒り

主の怒り → 国を燃やす

主に帰れ

